

日本アジア投資株式会社
2026年3月期 第2四半期
決算補足資料

決算発表日:2025年11月14日

1. 総括	P3
2. 当四半期の実績	P4
3. 中期経営計画の進捗状況	P7
4. トピックス	P12
5. 業績予想	P16
6. 参考情報	P18

本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

当四半期累計実績

- ✓ 巡航速度で推移、前年同期比での悪化は期初想定どおり
- ✓ 上場株式を売却した一方で、大型のプロジェクト売却益は無し
- ✓ 投資先上場企業の株価上昇により含み益が増加

中計の進捗

- ✓ 投資開発事業(プロジェクト投資)のAUM増加は下期以降の見込
- ✓ 投資運用事業(株式投資)ではファンドのAUMが約30億円増加

トピックス

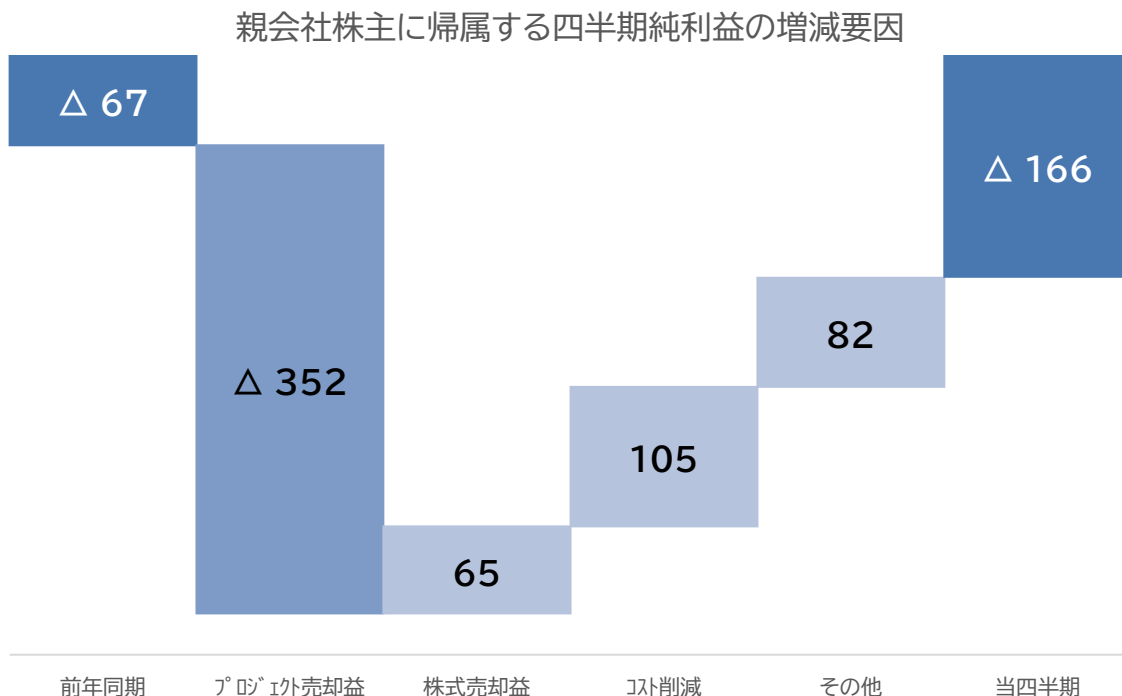
- ✓ 2025年10月 第三者割当増資を決議
- ✓ データセンターへの取り組み
- ✓ KICホールディングスのM&Aを決定

通期業績見込

- ✓ 期初見込(13.9%増収・12.6%増益)を据え置き
- ✓ 複数の未上場株式の売却益を見込む
- ✓ プロジェクト売却は障がい者グループホーム、物流施設、他を見込む

2. 当四半期の実績－ハイライト P/L

(単位:百万円)	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減率
営業収益	664	↓ 361	△45.6%
営業原価	160	75	△53.2%
営業総利益	503	286	△43.2%
販管費	565	↓ 460	△18.5%
営業利益	△61	△174	-
経常利益	△64	△198	-
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△67	↓ △166	-



✓ 減収・赤字要因:

- ・ 利益を伴う大型のプロジェクト売却が無く、減収・赤字計上（前年同期は物流施設1件の売却が寄与）
- ・ 上場株式の売却益により営業総利益率が上昇
- ・ 役員報酬や人件費を始めとして販管費を削減
- ・ これらの業績は期初の想定通り、巡航速度で推移

2. 当四半期の実績－ハイライト B/S

(単位:百万円)	2025年3月期末	2026年3月期 第2四半期末	増減率	主な増減要因(単位:億円)
総資産	10,693	10,617	△0.7%	
うち 現預金	3,292	 2,544	△22.7%	回収+5、投融資実行△6、 返済△4、費用等△2
うち 投資開発事業 (引当後 プロジェクト投資 (営業投資有価証券・貸付金))	4,088	4,067	△0.5%	投資実行+2、 分配・売却等△2
うち 投資運用事業 (引当後 プライベートエクイティ投資 (営業投資有価証券))	2,856	 3,397	18.9%	投資実行+3、含み益+4、 投資有価証券へ振替△2
借入金	3,495	 3,003	△14.1%	返済△4
自己資本	6,907	 7,138	3.3%	利益△1.7、含み益+4

- ✓ 現預金 :投資実行・借入金の返済により減少
- ✓ 投資資産:投資実行が進捗、投資先上場企業の株価上昇による含み益が増加
- ✓ 借入金 :計画に基づき返済を実施
- ✓ 自己資本:含み益の増加が損失による減少を補う

2. 当四半期の実績－ハイライト C/F

(単位:百万円)	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期
営業活動によるCF	116	↓ $\Delta 208$
投資活動によるCF	$\Delta 0$	↓ $\Delta 108$
財務活動によるCF	503	↓ $\Delta 492$
CF増減額	643	$\Delta 814$
期末残高	2,040	2,233

- ✓ 営業活動によるCF:損失の計上や投資実行により支出超過
- ✓ 投資活動によるCF:投資有価証券の取得により支出超過
- ✓ 財務活動によるCF:長期借入金の返済を行ったことから支出超過

3.中期経営計画の進捗状況

ー資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

現状分析

PBRが1倍を下回る状態が継続 ➡ 要因は投資利益率の低さと資産回転率の低さ

決算年月	2019/3月	2020/3月	2021/3月	2022/3月	2023/3月	2024/3月
PBR(倍)	0.41	0.36	0.53	0.41	0.53	0.68
ROE(%)	8.7	4.9	0.5	0.3	赤字	赤字
PER(倍)	5.9	9.1	142.3	200.9	赤字	赤字
ROA(%)	2.00	1.20	0.13	0.09	赤字	赤字

目指す姿

PBRの改善に向けて ➡ 資本コスト(約13.4%)並みのROEを実現

- ① 安定収益の拡大 (フィー収入で固定費をカバーし黒字化定着➡資本コストの低減)
- ② 収益性の改善 (長期滞留資産を早期に回収し資産を入れ替え➡資産の回転率の改善 & アセットアロケーション・事業ポートフォリオの見直し➡収益性の改善)
- ③ リファイナンスの実現と財務レバレッジの改善
- ④ IR活動のアップデート

計画・目標

重要な成果指標(KPI)

	2027/3月期
投資開発事業 運用資産規模(AUM)増加額	150億円
投資運用事業 運用資産規模(AUM)増加額	300億円
ファンド・プラットフォーム事業 受託資産規模(AUA)残高	4000億円

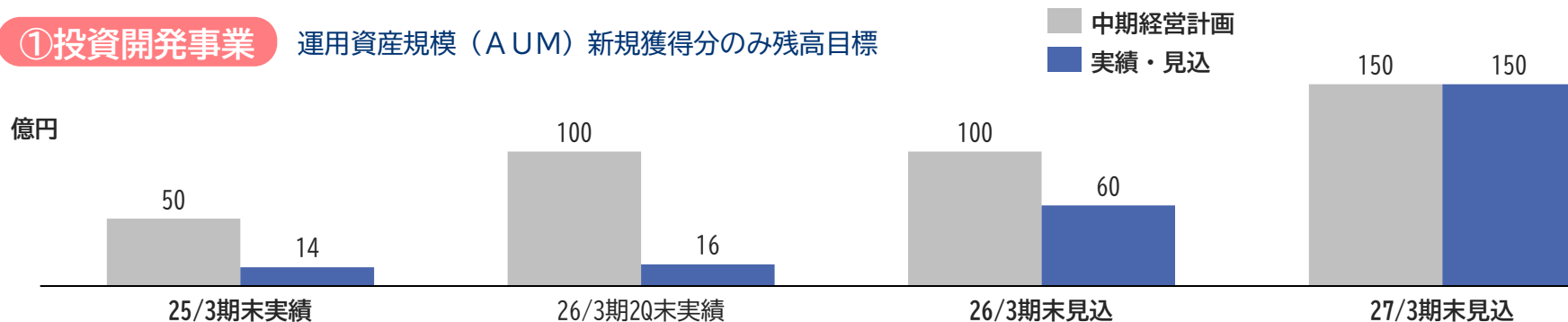
重要な目標指標 (KGI)

	24/3月期	27/3月期	目指す姿
安定収益	2億円	8億円	10.8億円
ROE	赤字	12.7%	資本コスト 13.4%以上
親会社株主に帰属 する当期純利益	△16億円	10億円	黒字化の定着 一時収益の増加

3.中期経営計画の進捗状況－KPIの進捗状況

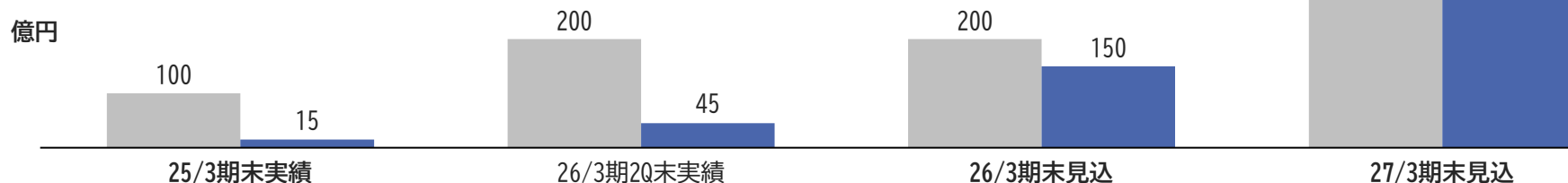
①投資開発事業

運用資産規模（AUM）新規獲得分のみ残高目標



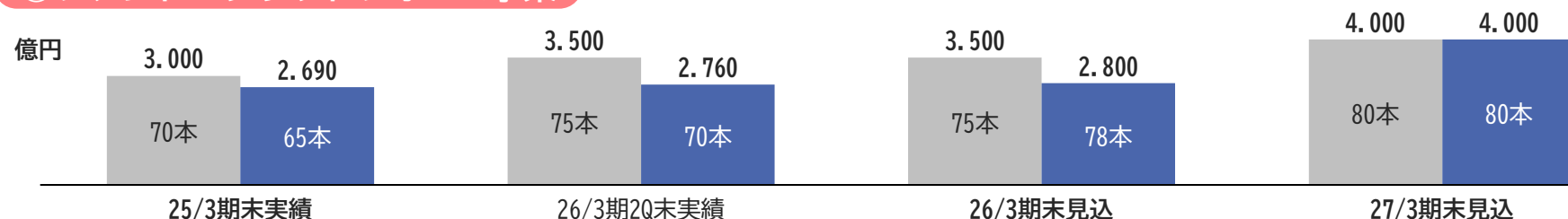
②投資運用事業

運用資産規模（AUM）新規獲得分のみ残高目標



③ファンド・プラットフォーム事業

受託資産規模（AUA）期末残高目標



- ✓ 投資開発事業：下期のデータセンタープロジェクト立上げによるAUM増額を見込む
- ✓ 投資運用事業：当期2Q累計で1ファンドを新設・2ファンドを増額、今後もファンドの新設を複数企画中
- ✓ ファンド・プラットフォーム事業：AUA残高・ファンド数ともに着実に増加

3.中期経営計画の進捗状況－運営ファンドの紹介

ファンド名称	設立日	ファンド総額	うち 期中増加額	主な投資対象等
JAICパートナーズファンド	2024年6月	179百万円		当社と共同で事業シナジー創出に取り組む国内の上場及び未上場企業
JAICスペシャルティファンド	2025年1月	612百万円	452百万円	国内のお土産品業界、小売業界、観光業界において、事業成長と地方創生の好循環に取り組む上場企業等
JAICサプライチェーンファンド	2025年1月	830百万円		製造業におけるサプライチェーン関連の上場企業
JAIC-Web3ファンド	2025年2月	465百万円	65百万円	Web3(NFT 等)関連の国内上場企業
JAIC クリプトアセット株式 ファンド	2025年7月	2,480百万円	2,480百万円	クリプトアセット(暗号資産)関連企業
合計		4,566百万円	2,997百万円	

3.中期経営計画の進捗状況－投資先企業の成長支援

- ✓ 新設ファンドから上場企業7社に投資実行
当社による業務提携を通じた事業支援、投資先企業同士の協業も拡大
- ✓ 当社自己資金からも2社への新株予約権投資
資金効率の高い投資手法による収益機会の確保



ブランディングテクノロジー(株)
(東証グロース:7067)



株式会社タカチホ
(東証スタンダード・名証メイン:8225)



株式会社イオレ
(東証グロース:2334)



nms ホールディングス(株)
(東証スタンダード:2162)



(株)W TOKYO
(東証グロース:9159)



(株)ディー・エル・イー
(東証スタンダード:3686)



(株)ベストワンドットコム
(東証グロース:6577)

ONE-JAPAN 観光ファンドの設立

HIS、ZUU子会社と共に国内未上場企業向け観光ファンドを設立



日本経済をけん引する観光産業の持続的成長を支援

ファンド概要

ファンド名称	ONE-JAPAN観光ファンド投資事業有限責任組合
所在地	東京都千代田区
ファンド設立	2025年10月
無限責任組合員	日本アジア投資株式会社、株式会社エイチ・アイ・エス、ZUU Funders株式会社
ファンド総額	1,000百万円(2026年3月末 募集期間完了時点 目標額)
主な投資対象	観光関連の国内未上場企業(含むスタートアップ)

4.トピックスー第三者割当増資について

2025年10月決議、本ファイナンスにより総額約37.4億円(※1)の資金調達を予定

普通株式		新株予約権(行使価額固定型)		新株予約権(行使価額修正型)	
調達額	252百万円	調達予定額	994百万円(※2)	調達予定額	2,507百万円(※3)
株価	252円	行使価額	252円	行使価額	当初行使価額252円(※4)
株式数	1,000千株	株式数	4,000千株	株式数	10,000千株
—	—	行使期間	2025/11/11～ 2027/11/10	行使期間	2025/11/11～ 2027/5/11

※1、2 調達予定額は、行使価額固定型新株予約権の全てが行使されると仮定した数値です

※1、3 調達予定額は、行使価額修正型新株予約権の全てが、当初行使価額で行使されると仮定した数値です

※4 行使価額が修正されるため、調達予定額は変動します

具体的な資金使途

資金使途		金額	支出予定時期
①	投資開発事業におけるAUMの積み上げのための投資資金 ・ データセンター・プロジェクトへの投資 ・ データセンター・プロジェクトを投資対象としたファンド組成のための出資金	600百万円	2025年11月～ 2027年3月
②	投資運用事業におけるAUMの積み上げのための投資資金 ・ 暗号資産事業等を行う企業を投資対象としたファンド組成のための出資金 ・ その他ファンド組成のための出資金	1,940百万円	2025年11月～ 2027年3月
③	AUMの積み上げのためのM&A資金 ・ ライセンス取得目的 ・ 安定収益拡大目的	1,200百万円	2025年11月～ 2027年3月
合 計		3,740百万円	

(注意) 実際に調達した金額が調達予定額を下回る場合には、手元資金から支出する予定です。ただし、手元資金が不足する場合には、投資実行やファンドの組成、M&Aの実行を取り止める予定です。

4.トピックスー第三者割当増資について

<本ファイナンスの目的・意義>

安定収益の拡大により黒字化を定着させるとともに、更なる企業価値向上に向けた取り組みを行います

◆ 連続的な成長に向けて ➡ KPIの着実な達成とAUMの更なる拡大

中期経営計画・目標	重要な成果指標（KPI）		重要な目標指標（KGI）		
		2027/3月期		27/3月期	目指す姿
	投資開発事業 運用資産規模(AUM)増加額	150億円	安定収益	8億円	10.8億円
	投資運用事業 運用資産規模(AUM)増加額	300億円	ROE	12.7%	資本コスト 13.4%以上
	ファントム・プラットフォーム事業 受託資産規模(AUA)残高	4000億円	親会社株主に帰属 する当期純利益	10億円	黒字化の定着 一時収益の増加

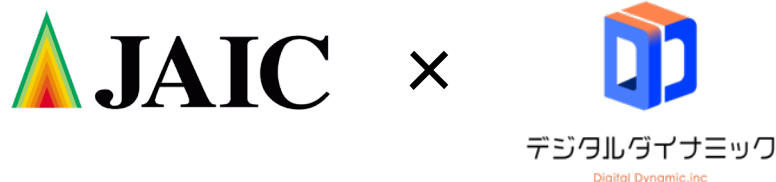
更なる企業価値向上

◆ 非連続的な成長に向けて ➡ 新たにM&A戦略への取り組みを実施
(M&A対象企業)

➤ 各種ライセンス保有企業
➤ 事業パイプライン保有企業 ➡ 新たな事業機会と収益機会の創出

福島県における分散型AIデータセンター事業

関連会社 JAIC データダイナミクスによる福島県双葉町における
分散型 AI データセンター事業(※1)が支援事業に採択



採択事業の概要

所在地	福島県双葉町
受電規模	2MW(メガワット)
施設規模	最大100台規模(※2)のサーバーを配置可能
サーバー台数	NVIDIA 製 B200 を搭載した高性能サーバー32 台を整備
事業内容	GPU ホスティング事業およびコロケーション事業
総事業費	30 億円規模(想定)

(※1)デジタルダイナミック株式会社が2025年7月に開始した事業。国内の東京圏および大阪圏に集中するAIデータセンターを地方へ分散配置し、AIの社会実装に不可欠な低レイテンシなデータ処理環境を全国に整備するとともに、災害へのレジリエンス強化、都市部における電力負荷の分散を目指すもの。

(※2)JAIC-DD社においてNVIDIA製 B200の公表スペックに基づき、当該GPU及びその他消費電力量を一定の前提により試算し、台数を算定したもの。

KICホールディングスの子会社化を決定

物流施設やデータセンターの開発を手掛け
傘下にアセット・マネジメント会社を保有する企業の子会社化



KICホールディングス 会社概要

名称	KIC ホールディングス株式会社
所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目19番
代表者	代表取締役会長兼社長 峯田 勝之
事業内容	持株会社、不動産開発事業、プリンシパル投資事業
設立	2018年6月20日
株主構成	峯田 勝之 42.7%、株式会社ケーエム40.6%、当社16.7%（割合は議決権比率）
主なグループ会社 と保有ライセンス	KICアセット・マネジメント株式会社(KIC ホールディングスの100%子会社) 保有ライセンス:金融商品取引業、第二種金融商品取引業、投資助言・代理業、投資運用 業、不動産投資顧問業、宅地建物取引業

5. 業績予想－通期業績予想の詳細

単位:百万円	2025年3月期 通期 実績	2026年3月期 第2四半期 実績	2026年3月期通期見込 (2025年5月開示)	進捗率
営業収益	2,150	361	2,450	14.8%
営業原価	990	75	1,050	7.2%
営業総利益	1,160	286	1,400	20.4%
販管費	886	460	900	51.2%
営業利益	273	△174	500	-
経常利益	438	△198	460	-
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	399	△166	450	-

- ✓ 第2四半期までの実績は巡航速度、業績は下期偏重の見込み
- ✓ 株式の売却は、国内で複数の未上場株式の売却を見込む
- ✓ プロジェクトの売却は、ディストリビューションセンタープロジェクト、複数の障がい者グループホームプロジェクト、その他プロジェクトの売却を見込む

5. 業績予想－将来情報についてのご注意

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。
- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の確度は低いものの、参考情報として開示しております。
- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

事業承継ファンドの活動状況	P19
再生可能エネルギープロジェクト一覧	P20
プロジェクト投資 案件一覧	P21
営業収益・営業原価 内訳	P25
主要データの推移	P26
営業収益・営業原価 内訳推移	P27
事業領域	P28
JAICの強み	P29
サステナビリティへの取り組み	P30
会社概要	P31

事業承継ファンドの活動状況

井貝株式会社を株式会社DMテクノスへ承継

— 同じ岐阜県に拠点をおき金型事業を主軸に複数事業を展開する企業への Exit —

株式会社あおぞら銀行と当社が共同設立したAJ キャピタル株式会社は、2025年10月、運営する事業承継ファンド「サクセッション 2 号投資事業有限責任組合」が投資する買収目的会社を通じて、井貝株式会社の全株式を、株式会社DM テクノスに譲渡/承継しました。
本件は、サクセッション2号ファンドにとって 3 件目、AJキャピタルが運営するサクセッション 1 号ファンドから通算すると 8 件目の投資先株式の譲渡/承継事例となります。

サクセッション2号 概要

名称	サクセッション 2 号投資事業有限責任組合
ファンド総額	51.01 億円
設立	2022 年 8 月
無限責任組合員	AJ キャピタル株式会社
有限責任組合員 (五十音順)	あおぞら銀行、阿波銀行、池田泉州銀行、愛媛銀行、鹿 児島銀行、岐阜商工信用組合、京葉銀行、荘内銀行、東 和銀行、鳥取銀行、富山銀行、日本アジア投 資、福井銀行、北都銀行、ゆうちょ銀行
主な投資対象	日本国内の事業承継問題を抱える中小企業

井貝 会社概要

商号	井貝株式会社
所在地	岐阜県安八郡輪之内町下大樽新田 482 番地 1
代表者	代表取締役 今西 勝利
設立	1982 年 7 月
資本金	10 百万円
事業内容	工作機械部品の製造

サクセッション2号ファンドの投資先企業

 株式会社 ヤエガシ 詳細はこちら>	 株式会社オズベック 詳細はこちら>	 株式会社ホブニック研究所 詳細はこちら>	 株式会社アシスト 詳細はこちら>
 某社 詳細はこちら>	 井貝株式会社 詳細はこちら>	 株式会社アーバン 詳細はこちら>	

DM テクノス 会社概要

商号	株式会社 DM テクノス
所在地	岐阜県海津市平田町今尾 2037
代表者	代表取締役 水口 和馬
設立	2009 年 7 月
資本金	10 百万円
事業内容	金型の製造、溶接/セラミックス加工

再生可能エネルギープロジェクト一覧 (2025年9月末)

メガソーラープロジェクト

売電中 9件(11発電所) 22.2MW

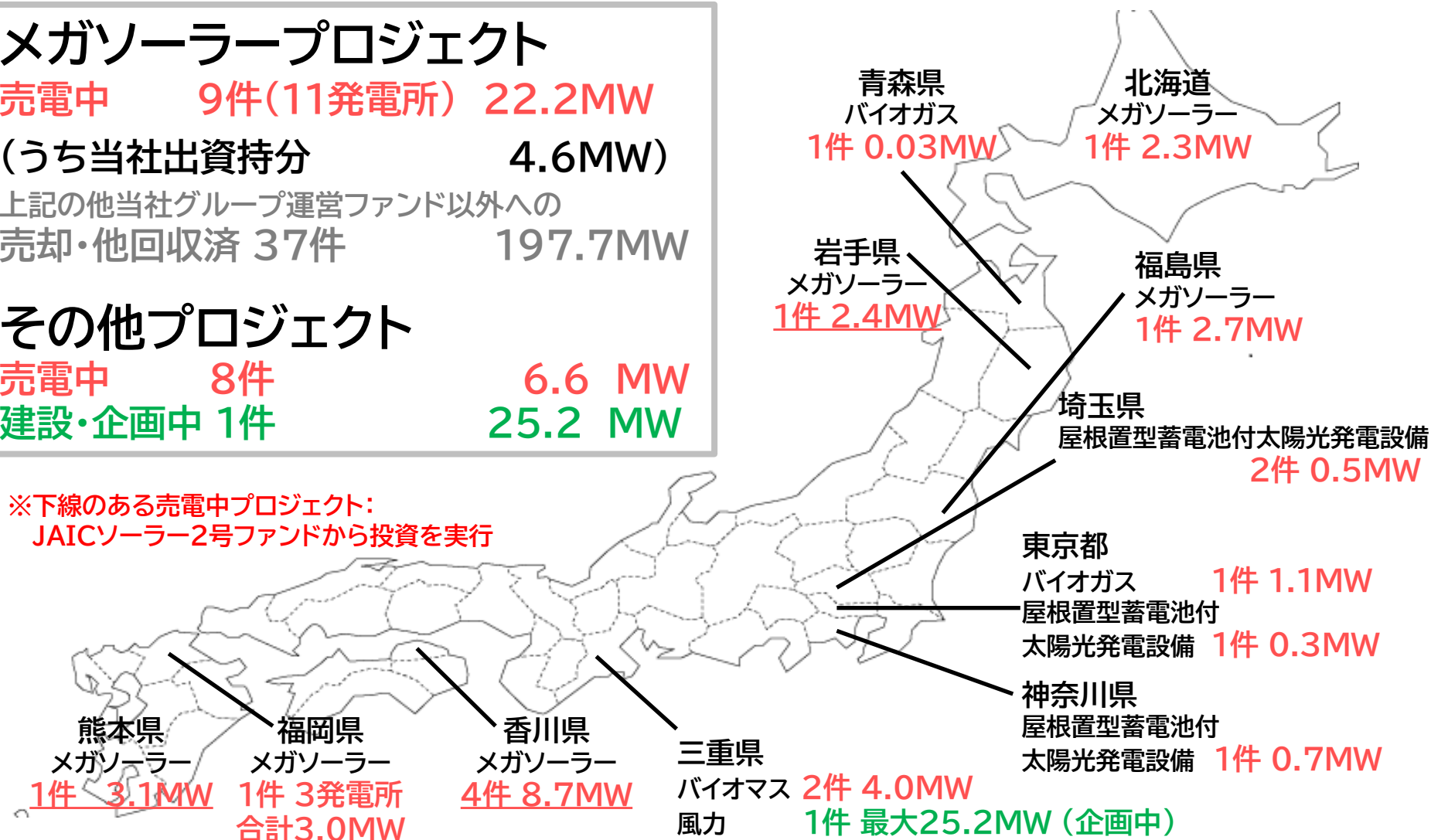
(うち当社出資持分 4.6MW)

上記の他当社グループ運営ファンド以外への
売却・他回収済 37件 197.7MW

その他プロジェクト

売電中 8件 6.6 MW

建設・企画 1件 25.2 MW

※下線のある売電中プロジェクト:
JAICソーラー2号ファンドから投資を実行

※各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

プロジェクト投資 案件一覧-1 (2025年9月末)

プロジェクト 種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)
メガソーラー 発電	1	熊本県球磨郡錦町(※)	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40
	2	野間池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36
	3	御田神辺池ソーラー発電所(※)	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32
	4	岩手一関ソーラーパーク(※)	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36
	5	中王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36
	6	東王田池ソーラー発電所(※)	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36
	7	広野ソーラーパーク	2.7	売電中 (2020年2月売電開始)	40
	8	厚岸ルークシュポール太陽光発電所	2.3	売電中 (2020年5月売電開始)	40
	9	うきは市しらかべ太陽光発電所、 うきは市みずのさと太陽光発電所、 うきは市みのうアルプス太陽光発電所	合計3.0	売電中 (2020年3月～5月売電開始)	36
合計 22.2MW (うち当社出資持分 4.6 MW)					

※:JAICソーラー2号投資事業有限責任組合から投資しているプロジェクト。

プロジェクト投資 案件一覧-2 (2025年9月末)

プロジェクト 種類		所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT(税抜、円)
屋根置型蓄電池付太陽光発電設備	1	埼玉県越谷市	0.2	売電中(2022年12月売電開始)	—
	2	埼玉県日高市	0.3	売電中(2023年2月売電開始)	—
	3	神奈川県厚木市	0.7	売電中(2023年2月売電開始)	—
	4	東京都あきる野市	0.3	売電中(2024年4月売電開始)	—
バイオマス 発電	1	三重県松阪市	2.0	売電中(2018年1月売電開始)	—
	2	三重県松阪市	2.0	売電中(2025年3月売電開始)	—
バイオガス 発電	1	東京都羽村市	1.1	売電中(2021年3月売電開始)	39
	2			バイオガスを生成する食品リサイクル会社 (バイオガス発電所オペレーター)	—
	3	青森県上北郡東北町	0.03	売電中(2018年11月売電開始)	39
風力発電	1	三重県	最大25.2	企画中	22

プロジェクト投資 案件一覧-3 (2025年9月末)

プロジェクト 種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
障がい者 グループ ホーム	1	福島県いわき市	入居者用20～21室、短期入所用2～3室	営業中(2023年8月営業開始)
	2	熊本県熊本市	同上	営業中(2024年3月営業開始)
	3	熊本県八代市	同上	営業中(2023年12月営業開始)
	4	鹿児島県霧島市	同上	営業中(2025年3月営業開始)
	5	佐賀県佐賀市諸富町	同上	営業中(2024年5月営業開始)
	6	福岡県朝倉市	同上	営業中(2024年5月営業開始)
	7	大分県大分市	同上	営業中(2025年7月営業開始)
	8	福岡県直方市	同上	営業中(2024年11月営業開始)
	9	宮崎県宮崎市	同上	営業中(2025年9月営業開始)
	10	福岡県久留米市	同上	営業中(2024年11月営業開始)
	11	佐賀県小城市	同上	営業中(2025年1月営業開始)
	12	長崎県大村市	同上	営業中(2024年11月営業開始)
	13	熊本県山鹿市	同上	営業中(2024年12月営業開始)
	14	宮崎県都城市	同上	営業中(2025年1月営業開始)
	15	鹿児島県薩摩川内市	同上	建設中
	16	茨城県竜ヶ崎市	同上	建設中
	17	福岡県北九州市門司区	同上	営業中(2025年5月営業開始)
	18	熊本県上益城郡	同上	営業中(2025年7月営業開始)
	19	福岡県中間市	同上	営業準備中(2025年10月営業開始)
	20	宮城県仙台市	同上	企画中

プロジェクト投資 案件一覧-4 (2025年9月末)

プロジェクト 種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
植物工場		兵庫県丹波篠山市	年間生産量 合計約470t	1号工場 2019年3月稼働 2号工場 2022年8月全面稼働
物流施設	1	埼玉県春日部市	延床面積 18,158㎡(予定)、地上4階建	2025年2月竣工
	2	非公開	非公開	企画中
	3	非公開	非公開	企画中

プロジェクト 種類		所在地	内容	プロジェクト進捗状況
その他	1	神奈川県藤沢市	元工場をリノベーションした創作活動向けシェア施設	営業中(2023年4月営業開始)
	2	—	電動アシスト自転車のサブスクリプションプロジェクト	2022年8月初回投資実行
	3	非公開	非公開	非公開
	4	非公開	非公開	非公開
	5	東京都港区虎ノ門	樹木葬プロジェクト 光円寺「芝愛宕の森™」	営業中(2023年5月開園・販売開始)
	6	京都府京都市	樹木葬プロジェクト 海宝寺「伏見桃山の森」	営業中(2023年11月開園・販売開始)

営業収益・営業原価 内訳

(単位:百万円)	合計		投資開発事業		投資運用事業		ファンド・プラットフォーム事業	
	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期
営業収益	664	361	398	↓ 63	189	↑ 213	76	↑ 84
管理運営報酬等	72	108	1	1	10	↑ 37	60	68
営業投資有価証券売却高	159	157	-	-	159	157	-	-
組合持分利益・インカムゲイン等	390	54	380	↓ 46	10	8	-	-
その他営業収益	41	40	16	15	9	10	15	15
営業原価	160	75	52	21	108	53	-	-
営業投資有価証券売却原価	98	31	-	-	98	↓ 31	-	-
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	6	10	0	-	6	10	-	-
組合持分損失等	45	25	43	13	2	12	-	-
その他営業原価	10	8	8	8	1	-	-	-
営業総利益	503	286	346	↓ 41	81	↑ 160	76	↑ 84

- ✓ 投資開発事業:減収・減益
 - ・営業収益(組合持分利益・インカムゲイン等):大型のプロジェクト売却益が無く減少
- ✓ 投資運用事業:増収・増益
 - ・営業収益(管理運営報酬等):新規に組成したファンドからの報酬が増加
 - ・営業原価(売却原価):利益率の高い上場株式の売却を行ったため減少

主要データの推移

(単位:百万円)	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	25年3月期 第2四半期	26年3月期 第2四半期
業績							
営業収益	3,089	2,409	3,017	964	2,150	664	361
営業総利益	1,301	1,276	961	△427	1,160	503	286
販売費及び一般管理費	1,086	1,189	1,147	1,094	886	565	460
営業利益	214	86	△185	△1,522	273	△61	△174
経常利益	173	61	△224	△1,569	438	△64	△198
親会社株主に帰属する当期純利益	144	49	△269	△1,574	399	△67	△166
財務状況							
現預金	3,699	2,740	2,464	1,750	3,292	2,274	2,544
引当後 営業投資有価証券・貸付金(プロジェクト投資)	5,583	6,781	6,053	5,248	4,088	5,360	4,067
引当後 営業投資有価証券(プライベートエクイティ投資)	4,267	4,812	4,083	3,003	2,856	2,891	3,397
借入金	6,950	5,943	5,142	4,314	3,495	3,819	3,003
自己資本	7,338	7,779	7,518	5,633	6,907	6,535	7,138
総資産	14,657	14,972	13,413	10,438	10,693	10,929	10,617

(単位:百万円)	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	25年3月期 第2四半期	26年3月期 第2四半期
ファンド設立・増加額	151	1,001	3,701	1,400	1,569	35	2,997
ファンド運用残高 ※	16,450	16,463	15,850	15,497	14,130	12,596	17,127
うち 当社グループ出資額 ※	5,434	4,953	3,389	2,428	1,707	1,544	2,112

※ 投資資産を保有した状態で清算期間に入るファンドが増加したため、2021年3月期より、清算期間中のファンドを含めています。

営業収益・営業原価 内訳推移

(単位:百万円)		21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	25年3月期 第2四半期	26年3月期 第2四半期
投資開発事業(プロジェクト投資)								
アセット・マネジメント報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)(a)		11	11	9	12	24	7	8
プロジェクト運用利益(組持分利益・インカム等、その他営業収益)(b)		55	△15	20	29	25	15	31
プロジェクト運用損失(組持分損失等、その他営業原価)(c)		110	141	386	281	137	52	21
プロジェクト運用損益(b-c)		△54	△156	△366	△251	△111	△37	10
売却高(営業投資有価証券売却高、組持分利益・インカム等)(d)		1,351	1,150	887	272	1,552	375	23
売却原価(e)		587	509	90	262	513	-	-
評価損・引当(f)		-	-	75	-	88	0	-
プロジェクト投資 キャピタルゲイン(d-e-f)		763	640	722	10	951	375	23
営業収益 小計(a+b+d)		1,418	1,145	917	314	1,603	398	63
営業原価 小計(c+e+f)		697	650	552	543	738	52	21
営業総利益 小計		720	495	365	△229	864	346	41
投資運用事業(プライベートエクイティ投資)								
アセット・マネジメント報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)(g)		62	40	17	49	48	20	48
成功報酬(管理運営報酬等)(h)		-	-	-	10	-	-	-
売却高(営業投資有価証券売却高、組持分利益・インカム等)(i)		1,469	1,078	1,943	442	340	169	165
売却原価(営業投資有価証券売却原価、組持分損失等)(j)		896	337	1,274	203	212	102	43
評価損・引当(k)		194	145	229	645	39	6	10
プライベートエクイティ投資 キャピタルゲイン&インカムゲイン(i-j-k)		378	595	439	△405	89	61	112
営業収益 小計(g+h+i)		1,532	1,119	1,960	502	388	189	213
営業原価 小計(j+k)		1,090	483	1,503	848	251	108	53
営業総利益 小計		441	636	457	△346	137	81	160
ファンド・プラットフォーム事業								
事務受託報酬(管理運営報酬等、その他営業収益)		138	144	139	147	158	76	84
総計								
営業収益		3,089	2,409	3,017	964	2,150	664	361
営業原価		1,788	1,133	2,056	1,392	990	160	75
営業総利益		1,301	1,276	961	△427	1,160	503	286

事業領域



①投資開発事業

- ・ ファンドの組成や融資による調達資金で設備を保有するSPC（特別目的会社）に対して投資を行い、設備を建設した後、設備を運営または売却する投資事業です。
- ・ インフレや景気の動向に影響を受けにくい特性を持ったプライベートな実物資産に投資をします。主な投資対象は、エネルギー（再エネ発電所、蓄電所）、インフラ（物流施設）、ヘルスケア（障がい者グループホーム）等です。

③ファンド・プラットフォーム事業

ファンド・アドミニストレーターとして長年の実績を有するジャイク事務サービス(株)が、ファンド運営のミドル・バック業務のサービスを提供します。

②投資運用事業

- ・ 企業の発行する有価証券を対象とする投資事業です。
- ・ 当社の強みを活かしてファンドを組成し、伝統的運用資産である上場株式・上場債券を対象としたバイアウト投資やPIPEsなどを行うほか、非伝統的（オルタナティブ）運用資産である未上場企業へのベンチャー投資やバイアウト投資を行います。

JAICの強み

投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握

最先端の
業界情報収集力

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有する

JAIC

ファイナンス
スキーム構築力

ベンチャー企業との
ネットワーク

- ・ 国内外で3,600億円の累計投資実績
- ・ プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築

- ・ 国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築
- ・ そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用

サステナビリティへの取り組み

長期ビジョン

経営理念

「日本とアジアをつなぐ投資会社として少子高齢化が進む社会に安心・安全で質と生産性の高い未来を創ります」

サステナビリティへの取り組み

SDGs投資会社であることをコアバリューとし、経営理念に基づく投資活動を徹底することで持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行う

マテリアリティ

Environment

- ◆ 投資を通じた環境負荷軽減と気候変動問題への取り組み
- ◆ 循環型社会に向けてイノベーションに取り組むベンチャー企業を支援

Social

- ◆ 投資を通じた少子高齢化問題の課題解決・包摂的な社会構築への取り組み
- ◆ プロジェクトを通じた地域金融機関と連携による地域社会・地域経済の発展への貢献
- ◆ 人権の尊重と多様性の確保による働きがいのある職場環境の整備

Governance

- ◆ 健全な組織基盤の構築
- ◆ コンプライアンスの徹底
- ◆ リスク管理体制と情報セキュリティの強化
- ◆ 適切な情報開示とステークホルダーとの適切な対話の推進

投資領域

社会の課題を解決する投資会社として

ヘルスケア
(高齢者、障がい者施設)



ディストリビューション
センター (物流施設)



プライベート
エクイティ投資



スマートアグリ
(植物工場)



再生可能エネルギー



ファンド管理



会社概要(2025年9月末現在)

会社名	日本アジア投資株式会社(略称)JAIC	
本社所在地	東京都千代田区九段北3丁目2番4号	
設立年月日	1981年7月10日	
資本金	100百万円	
株式上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:8518)	
従業員数	単体24名／連結34名	
事業領域	投資運用事業、投資開発事業、ファンド・プラットフォーム事業	
役員	代表取締役 社長執行役員CEO	丸山 俊
	取締役 常務執行役員CFO	岸本 謙司
	取締役 監査等委員長	橋 徳人
	取締役 監査等委員(独立社外取締役)	澁谷 功
	取締役 監査等委員(独立社外取締役)	丸山 千名美

- ✓ この資料（以下「本資料」といいます。）は、日本アジア投資株式会社（以下「JAIC」といいます。）の連結決算情報についての情報提供のみを目的としており、有価証券の取得その他の投資勧誘をするものではありません。
- ✓ 本資料に記載された将来に関する事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。
- ✓ 本資料に含まれる情報は全て、JAICが著作権その他一切の権利を有しており、JAICの許可無く複製したり転用することは禁じられております。
- ✓ 本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。



<https://www.jaic-vc.co.jp>

お問合せ先: 経営管理グループ IR担当

ir@jaic-vc.co.jp